

植物繊維由来の硬化物及びその製造方法	
<p>概要</p> <p>加水条件で綿等の植物繊維を一定条件下で微裁断した材料を乾燥処理することによって、PPやフェノール樹脂等の汎用プラスチックに類似する機能特性を持つ硬化物を得ることができる。</p> <p>品質</p> <p>原料の確保が安定的であり、製造工程が単純なため低コスト。また、水性環境下で製造し、焼却時の熱・有毒ガス発生量が少なく、生分解性であるため環境負荷が少ない。</p> <p>性能</p> <p>調整条件により異なる性状の資材を作ることができ、見かけの比重が最大で 1.4g/cm³、曲げ強度 172Gpa、弾性率 11.0GPa を確保する。</p> <p>乾燥による収縮と歪みの発生が課題である。</p> <p>URL http://www.kakui.co.jp/index.html</p>	<p>The infographic features a central image of various material samples (fibers, sheets, pellets) surrounded by six green callout boxes with white text:</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物繊維100%: 原料の確保が確実かつ安定的で資源の枯渇も少ない。 非石油系資材: 生分解性で、自然環境下で腐敗し、土に戻る。 PP、塩ビ並の特性: 調整条件によって、異なる性状の資材をつくる事が出来る。 安全性: 水性環境条件下で製造するので、環境負荷が少ない。 化学資材の1/2以下: 焼却時の発生エネルギーが化学資材の1/2以下で、有害なガスの発生も少ない。 低コスト: 製造設備が小規模かつ設備費が少ない。 投下エネルギーが低い: 製造工程が単純である。 <p>At the bottom right, it says '-5-' and 'カクイ株式会社'.</p>
<p>用途</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、パソコン等の外枠に使用される樹脂製品の代替利用 ・生分解性材料としての利用 ・乾燥時の収縮性を活用した抱持材 他 広範囲 	<p>技術移転</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 形態：共同研究開発 (2) 相手先：問わない (3) 地域：国内・海外いずれでもよい
<p>実用化・情報</p> <p>[試作・実験] 有り</p> <p>[製造・販売実績] 無し</p> <p>[技術情報の提供] 技術資料、特許公報等、サンプル</p> <p>[情報提供者] カクイ(株) 専務 中 精一</p> <p>[連絡先] (公財)りそな中小企業振興財団 TEL:03-3444-9541 FAX:03-3444-9546</p>	<p>特許等</p> <p>特許番号：第4280794号</p> <p>登録日：2009/03/19</p> <p>発明名称：綿繊維由来の成形物の製造方法及び綿繊維由来の成形物</p> <p>特許権者：カクイ(株)</p>